

地区ニュース

№2 2001.12.10

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区
千葉市中央区問屋町1-55 シーオービル



あなたのクラブ、あなたの街のトップニュースを満載
LIONS・NEWS・FLASH!

諮問委員会の開催、公式訪問受け入れ…八面六臂の活躍
部隊指揮官ゾーンチェアマンの素顔

CONTENTS

- 4 柏みどりLC、行徳リバーサイドLCが認証状伝達式
新たな同志の加入で戦力増強



- 11 [特別企画] 諮問委員会、公式訪問受け入れに本領発揮
部隊指揮官・ゾーンチェアマンの素顔

- 8 視力セミナー・薬物乱用防止教育指導者養成講座…等々
中身の濃い実効的な事業を積極的に展開する委員会報告

- 38 Youth Exchange/異文化に接した体験レポート

23 LIONS・NEWS・FLASH!

- 44 東京に次いで24年ぶりに日本で開催されるビックイベント
2002年大阪国際大会に参加しよう!

- 42 今期本地区に入会された「ライオンと呼ばれる人」114名

45 ライオンズ・スピリッツ探究②

- 43 緑の風にそよぐ第48回地区年次大会々場の魅力

- 46 きゃびねっとかんじ・ほーむページ

- 47 編集室一筆啓上



表紙イラスト/アオシマ・チュウジ

熱き想い。力強い決意



早々に梅雨が明けて外気は30度を軽く越えた7月20日の「海の日」の祝日に、柏みどりライオンズクラブが国際協会から認証状を得て発進した。当日は後藤地区ガバナーを始め、地区役員、一般来賓を迎え146名の盛大な伝達式となった。

2000年12月に、親クラブである柏ライオンズクラブの理事会で新クラブ結成が決定され、生みの苦しみが始まった。柏ネスクラブを解散し、それを主体とする構想だったが、寺嶋元地区ガバナー、植村リジョンチェアマン、森下ゾーンチェアマン、市村会長、そして柏LCのメンバーが、文字通り東奔西走し、招請・推薦を行い、翌年5月に27名をもって結成式に漕ぎ着けた。

招請されたメンバーであることを誇りとして、清潔と高貴を忘れず、無限の奉仕を誓い、芳野ガイディング指導のもとに、滝本会長を始め全メンバーが日々、研鑽に励んでいる。

◎L滝本二三江 L井上英子 L江口絹代 L榎園貞子 L恩田久子 L葛綿文子 L菊田洋子

L古賀弘子 L五木田揚子 L東風谷利男 L小柳千恵子 L坂本裕子 L佐藤公子 L清水久江

L助川幸子 L高垣弘子 L高橋初江 L橘房子 L弦巻昌子 L富澤恵美子 L永岡紀子

L中川すみ子 L坂内マサ子 L平井しず子 L松永光代 L宮下和子 L森ふく L守本恵子

ガバナーを迎え認証状伝達式を華やかに厳粛に挙行

新たな同志の出陣式



日本で3,423番目、複合で411番目、そしてC地区では123番目のクラブとして行徳リーサイドライオンズクラブが誕生した。認証状伝達式は秋天紅葉真っ盛りの10月24日におこなわれた。会場の西船フロアには開会の5時前から続々と関係者が来訪し、早くも華やかな雰囲気にも包まれた。

伝達式は、後藤地区ガバナー、地区役員、千葉光行市川市長を始め、千葉ゆうきのLC、リジョン内のブラザークラブメンバーなど150名を越える参会者で広い会場は満席に。勇壮な行進曲にあわせ認証状を掲げた小林均・前行徳ライオンズクラブ会長を先頭に、後藤地区ガバナー、新クラブ旗を手にした清水清ガイディング、そして新クラブのメンバーが入場した。認証状が間藤悟会長に手渡され、儀式は無事、終了した。

新クラブの例会は経費節減の方針から地元の自治会館で行い、文字通り地域密着を目指し、すでに活発な事業を展開している。

◎L間藤悟 L石垣光雄 L今井貞夫 L海老原義治 L鎌田有蔵 L川村広樹 L京極行夫

L清田政隆 L具志堅隆 L篠田統一 L菅竹健志 L鈴木和幸 L関口傳治 L中山貴邦 L平川誠

L平澤剛成 L藤原忠夫 L谷島重夫 L山岸彰治 L吉田正孝

国際色豊かに! YE生サマーキャンプin柏 麗澤大学キャンパスで、楽しく和やかに



7月27日～29日まで、柏市の広池学園内の「れいたくキャンパスプラザ」を宿舎として、8カ国10名のYE来日生を迎え、後藤ガバナーを始め3Rの役員、YEOB生、レオ、地区YE委員等が多数参加して、楽しく有意義な2泊3日のサマーキャンプが行われた。

初日は開会式に続き、広いキャンパス内の見学やオリエンテーリング、夕方からは、約80名による野外でのウェルカムパーティが催され、美味しい料理と共に、歌や踊り、花火等を楽しんだ。2日目は、茶道、うちわ作り、剣道、柔道等の日本の文化や武道に触れ、学び、日本の伝統文化の一部を理解してもらうことができた。夜は、丁度キャンパス内で数百人によって行われていた盆踊り大会に、来日生全員が浴衣を着て参加した。

来日生のほとんどが最後まで踊りの輪の中に入って参加し、終わりの方では日本人と変わらないほど上手に踊っていた。踊りが終わってからも、その夜は、来日生、OB生共に深夜まで色々な話題に話が弾んだ。

最終日は閉会式終了後、迎えに来ていたそれぞれのホストファミリーと共に、残る日本での生活を期待しながら散会した。多くの国の若者やライオンズメンバーが、このように一緒に楽しく過ごせることは、国際交流、世界平和にきっと役立つに違いない。やりがいを感じると共に、今後も更に活発に行われることが期待される。サマーキャンプ実施にあたり、柏な花LCの皆さんをはじめ多くの方々にご協力いただいた。



レオクラブ夏期研修会 初めての「手作り県外研修会」 感動! 尾瀬沼トレッキング 8月3日~5日



レオ地区結成6年目にして、初めての手作り県外研修会が開催された。場所は福島県会津田島町の大針生山荘を拠点とし、参加者は総勢40名となった。初日は尾瀬沼トレッキングに挑戦。当日は雷雨の中の登山となったが、一つ山を越えると一面の大湿原。木道を進み、赤・黄・紫と色とりどりの花を観賞しながら尾瀬沼を眺める風情は別世界に来たようで、大自然が心を満喫させてくれる。しかし、復路は雨の中、足の痛みにも耐えながら、よく頑張り、午後1時、沼山峠口に全員無事下山することができた。

その後、バスでの帰り道、ある建築作業所から廃材を頂き、みんなでバスに運び、それを使用して針生山荘でのキャンプファイヤーは格別の感があり、楽しい思い出が沢山できたことだろう。今回の県外研修会では、レオのみんなで協力し、企画するに当たっては下見に行き、諸々の手配を行ったこと、実行委員会をつくり、案内書や行動日程表を作ったこと、出発前日、遅くまで買い出しや準備をしたこと、食事の仕度や後片付けをしたこと、掃除をみんなで行ったこと等々、それぞれに意義があり、多くのことを学ぶ機会となった。





視力保護セミナーを開催

安達恵美子教授とL椎名益男が講演

地区視聴力保護・糖尿病委員会が、残暑厳しい8月25日（土）に県医療センターで「視力保護セミナー」を開催した。

講演は2部に分かれ、最初は内科医の権威でもある椎名益男委員長が「恐怖の糖尿病」と題してスライドを交えながら温和な口調ながら糖尿病の恐ろしさを解りやすく説いた。糖尿病は、日本では国民病の様相を呈しており、自覚症状が少ないのが曲者で、10年～20年後に恐ろしい合併症が発生し、命取りになることから「無言の殺し屋」とも呼ばれていると言われているとのこと。

細動脈が侵されて糖尿病網膜症（中途失明）に至る人は年間約4千人。糖尿病性腎症は約1万1千人が人工透析に移行しているという。大血管障害としては、心筋梗塞、脳卒中、脳梗塞、脳出血を引き起こす。また下肢の動脈閉塞は糖尿病性神経障害も加わって糖尿病壊疽となり、足の切断という事態にもなりかねないという誠に恐ろしい病気の話に、会場の聴衆は静まり返って聞き入っていた。

椎名委員長はまた、アイバンクについても触れ、献眼の必要性和献眼登録を強く勧め、ライオンズクラブの広範な力強い啓蒙運動の展開を要請した。

小休止のあと千葉大医学部眼科教授の安達恵美子先生が登壇した。学生時代から将来を嘱望され、現在は世界的にも名の知られた眼科の権威である。講演は「角膜移植を含めた失明に至る眼の疾患」と題して1時間、スライドを使い懇切丁寧にユーモアを交えて聴衆を釘付けにした。角膜移植手術の様子をスライドで説明されたが、初めて見たひとがほとんどで、会場はシーンとなった。

安達先生は千葉LCの後援によりJRPS（日本網膜色素変性症協会）を設立されたが、現在、学術支援会が百名を越え、患者会員は3千人近い。



明年は千葉市で国際網膜世界会議が開催される。ライオンズクラブも積極的な支援と協力が必要なことは云うまでもない。

この催しについては追って詳しく案内されるので、各クラブのメンバーは積極的な参加を表明し、支援したい。



薬物の乱用を決して許さない環境づくり 薬物乱用防止教育指導者 養成講座を開催

人類自身もたらした薬物禍の浸透は、これからの人類の担い手である青少年を蝕み深刻な社会問題となっている。

地区薬物乱用防止・献血推進委員会では、10月21日に薬物乱用防止教育指導者養成講座を県医療センターで開催した。

この委員会は富田茂之委員長ただ一人の委員会のため、準備段階から相当に苦労された。後半には所属ゾーンである4R3Zの前田勇ゾーンチェアマンと、各クラブの会長を始めメンバー多数が協力態勢を執り、講座開催を成功に導いた。

当日の受講者は地区内から203名が登録し、会場はほぼ満席となった。講座は10時20分から昼食を挟み16時まで2部構成で行われ、6名の講師が防止活動の実態や心身への影響など多岐にわたって講演し、受講者はメモを取りながら熱心に聞き入っていた。

手軽に入手できるのが、プラモ用接着剤やペイント希釈材（シンナー）などで、これらを大量に吸引すると銘酩感を味わえるが、常用してくると感覚の鈍化・混沌・激昂し、場所や時間の認識の混乱状態に陥るといふ。

講座はビデオをスクリーンに映し出すエギジビション装置を使用しながら進められる講演とあって受講者には非常に解りやすかった。昼食後の休憩時間にはキャラバンカーの見学コースも用意され、初めてプリクラを楽しむ中年の受講者もいたようだ。

午後の講座は厚生労働省の麻薬取締りの国際情報課長が、薬物取締りの現場の苦労話をユーモアを交えて披露するなど、巧みな講話で受講者を引き付けていた。また実践講座として八千代東LCから「八千代市における薬物乱用防止活動の実態」が報告され、受講者も自分達にも出来るという思いを新たにしたいようだ。

この日の203名の受講者には後日に「薬物乱用防止教育講師認定証」が交付される。地域での薬物乱用防止キャンペーンの事業推進に大いに役立てていただきたい。クラブによっては教育委員会と連携し、各小中学校において講習会を開催していることが報告されており、教育現場でも大いに歓迎しているという。青少年健全育成はライオンズの大きな柱のひとつであり、積極的な事業展開が望まれる。



特別報告書

心を癒すビオトープ

ビオトープとはドイツ語で「生命・生物」を表すBIOと「場所」を意味するTOPを合わせた言葉で、野生の生き物が自然に集まってくるスペースを意味する。景観のためにコンクリートやタイルで覆ったものではなく、かつて、どこにでも存在した自然の営みで出来た池や沼を再現したものを言う。生き物のための環境作りをしようと言うことだ。

阪神大震災で大きく失われた自然を取り戻すのが、千葉LCと千校の子供たちと、こ組んだ。市内の花見4月から池を造るこバーと子供たちがドラ完成をさせた。

池は「トンボの王う」というキャッチしたものだが、7月のヤゴが確認されるような展開となって喜び。汗を流した労

1年間、この池の第4小の「トンボと

集まれトンボ花島池



ライオンズメンバーと小学生たちのユメが叶った瞬間

な被害を受けた神戸で戻そうと始まったも葉花見川LCが、小学のビオトープに取り川公園内に1 昨年のとから始めた。メンロだらけになりなが

様オニヤンマを呼ぼフレーズのもとに造15日にはオニヤンマという、絵に描いた大人も子供たちも大苦が報われた。

観察を続けた花見川なかよし委員会」が、

翌年の8月に産卵する様子をカメラに収めることに成功したのである。(写真)

まさに夢叶う決定的な瞬間を捉えたもので、関係者の喜びは筆舌に表せないと言えよう。花島池には溪流園や噴水広場があり、奥には魚が住むのに適した谷津池もある、いわば自然の宝庫。ライオンズクラブがイニシアティブをとり、この自然の楽園を守る事業を継続させたい。

都市近郊では池などの水たまりがあると、すぐにゴミを捨てて埋め尽くしてしまう。残された自然を保全し、破壊された自然をビオトープ活動で修復し、後世に残すことが、たった50年で自然破壊してしまった私たちの罪滅ぼしであり、義務といえよう。ライオンズクラブのACTとしても大変意義がある。

(報告/L椎名益男)

特別企画 諮問委員会・公式訪問受け入れ…と大活躍の人物に迫る

部隊指揮官 ゾーンチェアマンの素顔



1Rから10Rまで23名がホンネを語る。



まずは健康第一に職務を遂行しています。

1R1Z

ゾーンチェアマン L 秋元 三男

市川に角膜センター、アイバンクの建物が完成し、竣工式に招かれ、ライオンズの功績を称えられて、厳かな式に代表として臨席の栄誉を与えられ、先輩諸兄の大いなるご尽力の歴史と重さを感じながら、新しいZCとしての幕が上がった。大役である後藤GVの公式訪問は1R9クラブ一体で合同例会が全員の思いやりのある協力によって遂行された。運営の簡素化合理化が重要視されている中で、経費節減虚礼廃止を旗印に進めて来た。従来のに囚われず時代の要望に応えられれば…！今期はそれ等が実現に向けて大分努力されているようだ。このような事柄が地区役員の内でも改められ新しい方向に進めることにより、地区役員の自己負担の軽減にも継がり、役目を果たすことが出来るのが望ましいのではないかと。R費、Z費の問題もこの様なことから改善されれば良いと思われる。各クラブ目標の行事に用意万端備えて意気盛ん！健康第一で皆で今期を頑張っ飾ろう。



八面六臂の活躍をした…と言われるように。

1R2Z

ゾーンチェアマン L 大石 勇機

ゾーンチェアマンを拝命し早や四ヶ月を過ぎようとしています。キャビネット会議の指示を受けての諮問会議の主催、ガバナー公式訪問をいただきすぐ各クラブの公式訪問を終え、今又、エクステンションしましたクラブのチャーターナイト記念例会を兼ねた認証状伝達式に臨まんとする所であり息つく間もない時期でありました。

しかし我が所属する行徳ライオンズクラブは今期、更に充実を計るべく各委員会の活発なる思案と行動は又、私を勇気づけるものでありました。今期私の仕事として受け止めました。

「会員増強は必ず各クラブ“プラスワン”以上とし、リジョンに於いては盛んなる交流を促進させ単一クラブのみならず、色々な情報を相互に発信し参加することも、又原点に戻り見直しを施す源ではないか…」と云う様にクラブ訪問時に力説しました。どうぞ今期一年メンバー皆様には優和のうちに終了出来ます様よろしくお願い致します。



各クラブを結ぶパイプ役として更に精進

2R1Z

ゾーンチェアマン L 林 護

今年度も一段と厳しい経済状況の中で、2R1Zの会員数は178名でスタートしました。現在のLCの現状の中で、まず会員の増強であります。そして情報技術、IT社会への対応をも考慮しつつ質の高いプログラム、事業と、新世紀にふさわしい、活力と魅力あるクラブ作り、という事で、8月6日の第1回諮問委員会では、活発な質疑応答がありました。そして9月2日、南柏日本閣に於ての、地区ガバナー公式訪問に当たりましては、1ゾーン164名の登録の中で青少年の育成、会員増強、一般公共へのPR、そして次世代のライオンズリーダーの育成といった項目について討議し、後藤地区ガバナーの方針に沿って、ゾーンの最高の能力を発揮することで一致、終幕した。今年度の1ゾーンの中で特に、松戸中央LCの夏期YE派遣生、受入生、帰国生と、青少年の育成に力を傾注、同時に第85回国際大会(大阪)に全員の登録。そして松戸南LCは今期CN10周年に当たり、夏期、冬期に10名のYE派遣生を予定。松戸ユーカリLCはマレーシア国に日本の消防車両2台を寄贈という、活力と魅力あるクラブ作りを進めております。



聞くは一時の恥・聞かぬは一生の恥

2R2Z

ゾーンチェアマン L 増田 実

ゾーンチェアマンの大役を依頼された時、ライオン歴の浅い自分が引き受けて何が出来るか、数日考えた末、上杉鷹山の「なせば成るなさねば成らぬ何事も成らぬは人の成さぬなりけり」その気でやればやり遂げられないことはない、大袈裟のようですが引き受けました。ゾーン内の経験した先輩に、聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥、先輩達が親身に教えてくれました。もう四ヶ月になり、ゾーン内の各クラブ例会訪問には全クラブに大歓迎され、諮問委員会では自分より大先輩の方々にガバナーの伝達、そして会長、幹事との親睦を深めいっそうの親近感を増した。公式訪問受入れの会場設定にはリジョンチェアマンの協力で苦勞する事なく設定できた。まさに「なせば成る…」でした。どうしたらゾーンチェアにと思った事も、RC、各クラブの全員が助言、協力の賜物だと感謝しております。



やるっきゃない…と自らに言い聞かせて。

3R1Z

ゾーンチェアマン L 井上 廣里

今期ゾーンチェアマンを拝命してから早くも4ヶ月が過ぎようとしています。今期リジョン内より地区ガバナーが選出されたということもあり、一段と身の引き締まる思いで日々ライオンズクラブ活動に励んでおります。ゾーン内では7月に柏みどりライオンズクラブが誕生するなど嬉しいスタートとなった。しかし7月には第1回キャビネット会議に出席、8月には第1回諮問委員会の開催、各クラブ例会訪問と今まで経験のないことだらけで戸惑っていたが、最近はやるっきゃないと自分に言い聞かせ行事予定に向かって前進しています。後藤隆一地区ガバナーのスローガン『心で照らす奉仕の光』を十分に理解し、ガバナー方針の会員増強、退会防止、クラブ運営の改革、青少年育成等を、各クラブメンバーに十分伝えスローガンが実のあるものとなり、悔いのない結果を出したいと思っています。会員の皆様のご支援ご協力をお願い致します。



花のゾーンチェアマンをお引き受けして

3R2Z

ゾーンチェアマン L 長沢 千鶴子

ZC研修会の時、開口一番、当時の小西幹事は「ライオンズクラブにもいろんな役職があるけれどもZCは花形なんだよ。花のゾーンチェアマンと呼ばれるのだから」…と。なるほど次から次へと目白押しに仕事がかかる。忙しいけれど遣り甲斐はある。第1回の諮問委員会もホストクラブの皆様の協力を得て無事終了した。

上半期の例会訪問も全て終わった。世の中大変な不況で皆さんライオンズどころではないのかと思っていたら各クラブの出席率が90%近いのには正直いって驚いた。そして皆さん明るい。テールツイスタータイムも楽しくやってらっしゃる。そう奉仕活動は「苦」になってはいけない「楽しく」なければ。素晴らしい人々との出会い、そして遣り甲斐のあるZCに推薦してくれた同志のみなさまに感謝!!



将来を見据えた在り方を討議しよう。

4R1Z

ゾーンチェアマン L 古我 雄大

ガバナー公式訪問が333-C地区のトップバッターで8月18日と早い時期だったので、いささか焦った。そのためガバナー諮問委員会も8月6日と早々に開き、ガバナー公式訪問の打合わせも行った。各クラブ会長の積極的な協力もあって、有意義なものとなったと信じている。そして楽しかった!! ライオンズデーの奉仕活動は、ゾーンチェアマンとして手抜きをしたわけではないが、各クラブの独自性にお任せして、ゾーンとしての統一活動はしなかったが、結果的には市民参加の奉仕もあり一般社会へのPRにも役立ったと思っている。また一晚、4R1Zの6クラブの会長に集って頂き、地区長期計画・指導力育成委員長L. 小西宗仁を囲んで、将来を見据えたライオンズクラブの在り方について自由討議の機会を持った。ライオンズクラブの危機が叫ばれる中、今後のクラブ運営を通じて改革の流れが更に生まれてくるものと思う。頑張っている。



特効薬を求めて東奔西走の日々。

4R2Z

ゾーンチェアマン L 大谷 昇

大変に荷が重い。もっと適任のライオンが多くいる中での指名にとまどいながらも4ヶ月が過ぎてしまった。幸いと言うかクラブ会長他の助言と協力によりやくにしてZCとしての進むべく方向が見えて来たような昨今なり。

ガバナーのスローガン「心で照らす奉仕の光り」にもとづいた活動が要求されているように、世界一の奉仕団体の組織の一員としての誇りを再認識するときです。昨今の時局柄やもすれば消極的になることに歯止めとなる特効薬が欲しい。伝統と従来の方針を重んじクラブの活性化に勇気を持って取り組むことにZCとして微力乍ら頑張る所存です。地域に依る特性と又それ専による格差をクラブ間の交流と合同でのACTで今後のクラブ活動に活生を与えてくれるのではないかと念じて居る今日この頃なり。



幼児虐待に心を悩ませる昨日

4R3Z

ゾーンチェアマン L 前田 勇

今期3Zとしましては早い時期に、9月11日ガバナーの公式訪問をお受けする事が出来大変有り難かったと思っております。と申しますのはガバナーの考えを早くに、直にお聞きすることが出来、今期の活動に生かせると思ったからです。ガバナーの言われる青少年育成は本当に大事なことで、3Zでは肢体不自由児の水泳教室・海水浴(習志野LC)市内小学校に国際平和ポスターコンテスト参加の推進協力(八千代LC)例年YE生の受け入れ派遣(習志野中央LC)市内中学校での薬物乱用防止キャンペーンの継続(八千代東LC)等々、青少年育成に力を注いでいる所ですが、近年我々大人の心を痛めている問題に幼児虐待があります。もの言えぬ子が殺されて行く本当に切ない思いです。当ゾーンの習志野市・八千代市から被虐待者は0になって欲しい。まず出来るのは啓蒙活動で各クラブとも検討努力されています。本当に有り難い事と思っている次第です。



やってみると、えらい大変な事だと判りました。

5R1Z

ゾーンチェアマン L 清水 義雄

過去にゾーン幹事、PR委員、地区会員大会参加委員長をさせて頂きましたが、いざZCに任命され、動き出したら、こりゃ大変な事です。ガバナー諮問委員会の資料作成、幹事がいませんので、集金から司会まで1人でこなし、今までいかに楽をしていたか良くわかりました。

次はいよいよガバナー公式訪問合同例会。各クラブへの協力要請、ガバナーの写真は、いつになったら届くのか、安くやれと云われてもホテルの渋い事など。お金は足りるのか、前年度が立派にやったのに、その金額じゃ無理となり1人あたりの5百円のUPでやっと納まった。

今度は当日予定の人数が集まるのかどうか、式次第にミスはないか、料理は足りるか、飲み物が足りなくなりそうだ、早く終了しないと大変だ、気は焦れど、盛り上がっているどうしようetc、まだまだ努力が足りないようだ。



千葉ゆうきのLCがLC1Fに全員献金。

5R2Z

ゾーンチェアマン L 勝又 俊澄

5R-2Zは千葉エコー・千葉京葉・千葉若潮・千葉ポート・千葉ゆうきのLCの5クラブによって構成されている。特記事項として、千葉ゆうきのLCではLC1Fに24名全員献金した。

① 第1回会長・幹事会（ガバナー公式訪問準備会） 8月5日（日） PM5:00～7:00

於ホテルサンガーデン千葉 初会合であり自己紹介・意見交換等を行い和気藹々とした雰囲気の中で執り行われた。② 第1回ガバナー諮問委員会 17名参加 8月27日（月） PM6:00～

8:30 於ホテルサンガーデン千葉 ガバナースローガン～心で照らす奉仕の光～のもと審議事項を討議した。会員増強・青少年健全育成・薬物乱用防止・クラブ運営の改革・楽しい例会作り等意見が続出した。③ ガバナー公式訪問合同例会 正会員全員登録129名 9月15日（土）

PM12:30～6:00 於ホテルサンガーデン千葉 ご来賓・キャビネット関係者出席のもと盛大に厳粛に挙行された事は大変有意義であった。上記の他ポートLCチャリティゴルフ大会、ゆうきのLC・CN5周年式典が執り行われている。



任に相応・出来る器か 汗して挑戦

5R3Z

ゾーンチェアマン L 篠崎 良治

5R3Zの部隊指官ゾーンチェアマンに就任するという名誉は私には夢にすぎませんでした。この様な心境の中で私は、今全力を尽くし、汗して責務に挑戦し一步前進致しております。後藤ガバナーの地区運営の指標と基本姿勢『原点・変革・正しい路を力強く前進』の意志を正しく、速く、広く深く伝播させ透視させるには、かなりのエネルギーが必要と思います。微力ではありませんが必死で取り組んでおります。

薬物乱用防止の啓蒙運動として街頭ビラ配布（八幡・五井・姉崎にて6,000枚）実施

東海大望洋高校にて65名14,800p帝京平成大学にて241名86,000p、山九（株）にて86名28,800pの協力をいただきました。

新クラブエクステションは今年度中に1クラブの誕生が内定し、このような活動を展開する道程中3Zの各クラブ三役と意志の疎通・融和・協調に努力を重ね心豊かな魅力溢れるライオンズムと高揚のために、同志の輪が大きく広がりライオンズの道を更に力強く前進する次第です。



役割分担も増え目の回る忙しさ

6R1Z

ゾーンチェアマン L 池田 忠彦

リジョンチェアマンより、各クラブへの訪問の予定はどうなっているのだろうか、と云う電話をいただいたのは6月中旬であった。

なんの準備もしていなかったもので、各クラブの例会日を調べ、あわてて予定表を作り、各クラブへ送付したのを思い出します。

第1回諮問委員会も、初めての経験で、会費の集金をしたり、司会と議事録用のメモを取ったり、食事の用意をし、質問に答えたりと、2時間余り、忙しい時を過ごした。

従来、当ゾーンはゾーン幹事を置くケースが多く、今年はそれを廃止したため、役割分担が多くなったためもあった。

公式訪問については、出席人数について苦労した。追加やキャンセルがあつて、確定するのは当日しかないな、と割り切って進めた。1Zの構成メンバー255名の内130名の出席であった。式典では時間が30分程余ってしまったが各クラブ会長のスピーチが遠慮がちだったためである。



ムーア国際会長の方針を精読

6R2Z

ゾーンチェアマン L 本川 真澄

(マイナス)

①ライオン歴五年のキャリアでは兎に角勝手が分からない。手さぐりで、前ZCを始め色んな人に電話をかけまくった。まるで綱渡りのような日々だった。

②おかげで自分の時間が大分つぶれてしまった。

(プラス)

反面、随分色々なことが勉強できた。責任上、「ライオン」誌を始めすべての印刷物に目を通したし、とりわけフランク・ムーア国際会長と後藤ガバナーの話は精読した。伝える側の気持が分からなければ他の人には伝えることが出来ない。

極力(マイナス)を減らして(プラス)を増やすこと、「ZCの仕事が一番面白い」というガバナーの言葉を信じてこれからも頑張ります。



常に良識と情熱を持って要望に対処

7R1Z

ゾーンチェアマン L 大嶋 政雄

ライオンズクラブの奉仕活動が広範囲にかつ多様化しているにも拘わらず、一般市民には正しく理解されないのが現状である。日本国にクラブが結成されてから50余年、平和な社会生活が豊かになるにつれ、会員の増強の努力とうらはらに退会者があると聞く。

過去を反省し、将来に向かって本年度の地区ガバナーの努力目標である四項を完全に消化することにあると思います。青少年の育成、会員増強、一般社会へのPR、次世代のライオンズリーダーの育成…等々である。

我々の奉仕活動が社会から愛され、さらに世間の信頼を深めるため、素晴らしい人間関係を基調とした心のふれあい、真心奉仕、を通じ社会的リーダーシップを担うライオンズクラブになることを期待する。国際社会情勢の変化や経済状況下にあつて、我々は更に奉仕活動の意義を自覚し、常に良識と情熱をもって社会の要望に対処すべきである。



不況を吹き飛ばすパワーが爆発

7R2Z

ゾーンチェアマン L 竹林 克夫

RCをはじめR内役員・各クラブ3役全員集合の中、9月15日定刻通り第1回ガバナー諮問委員会が開催されました。各クラブ会長さんとも大変、活発な意見、事業発表をしてくださいました。ZCの私も圧倒されてしまう程でした。この不況下に不況をものともせず元気な2Zの意気込みは、会議室が皆さんのパワーで割れ裂けるようでした。

退会防止、会員増強、青少年健全育成、環境美化運動、献血協力等、後藤ガバナーのスローガン通り着実に進行中であります。

クラブ例会訪問も年内に2回。来年に1回で11月15日にはZ内ゴルフコンペ開催。12月5日から9日迄は東洋東南アジアフォーラムへの参加。Z担当幹事のL飯塚丈夫共々、活発、大胆に活動しております。今後とも、よろしくご協力の程お願い申し上げます。ガバナー公式訪問合同例会の節は大勢の参加協力ありがとうございました。



不撓不屈の精神で職責を果たす

7R3Z

ゾーンチェアマン L 林 正樹

空爆と炭疽菌で世情は不安の日々となっていますが、秋は深まりつつあります。

第3Zの各LC会長にはRC・ZC例会訪問、第1回諮問委員会、ガバナー公式訪問合同例会と一連の行事を有意義に終了させて頂きました。また会議の中では皆様からの貴重な意見や要望など拝聴させて頂き、今後の運営に大きな収穫となり感謝を申し上げます。

「数は力なり」といわれます。本年度は「会員増強と退会防止」政策を先頭に努力を重ねてまいります。また各LCに於いては「奉仕活動計画」の実行に向かって好機到来であります。M各位のご協力を頂きながら、一致団結ライオニズムの高揚のため、各LCの掲げた奉仕計画達成のために邁進してまいりたいと存じます。

ZCは微力ではありますが「不撓不屈」の精神で職責を果す所存であります。どうか、第3Z、265名の皆様の一層のご指導とご協力を宜しくお願い申し上げます。



酒は百薬の長。ああ酒はありがたや！

8R1Z

ゾーンチェアマン L 鈴木 実

去る8月22日(水)午後7時より1ゾーン合同納涼例会が、木更津パークホテルで5ライオンズクラブ、2ライオネスクラブ主催で開催された。当日は近年にない大型台風に見舞われ、開催も危ぶまれましたが、夕方にはライオンズマン、ライオネスの心意気に負けたのか真っ赤な夕陽が射し、納涼例会の開催を祝福してくれる様におだやかな夏の夕暮れとなりました。参加者も多く盛大な合同例会となりました。この合同例会は今までは単独で行っていた行事でしたが、経費の節減を目指し又ゾーン内の親睦を図る例会として、10年前から行われている行事です。5クラブの幹事が知恵を出し合い、趣向を凝らした例会となっております。

しかし国歌、ライオンズヒムなどは声も小さく、元気も無く覇気のない出だしです。ところがウィーサーブ後「また会う日まで」の合唱では、国歌、ライオンズヒムの何倍かの大きな声で、メンバー全員が一団となって歌います。

酒の力は百の説法より真実です。酒は名前も知らない同志を親密にし、旧知のメンバー同志はウィーサーブの話に花が咲きます。「あー酒はありがたや！ありがたや！」



第一回諮問委員会で年3回の幹事会を確約

8R2Z

ゾーンチェアマン L 高橋 茂雄

去る8月25日(土)午後3時より、君津市のホテル千成に於て第一回ガバナー諮問委員会が開催され、後藤ガバナーの地区運営の指標と基本姿勢を伝えた。

参加者は4クラブ12名、各クラブの年次計画と其の取り組みについて説明があった。基本的には各クラブとも継続的ACTが中心となりましたが、今年度は青少年健全育成事業、環境美化活動、献血交通事故防止活動、薬物乱用防止活動等、各クラブとも地域社会へライオンズの活動のPRを兼ねた、目に見える奉仕活動が強調された。会員増強は不況の影響もあるが、退会防止に努めると同時にライオンズクラブの原点は、寄附団体ではなく奉仕団体であるとの認識を深め、金のかからないクラブ運営に努め、質の高い、しかも会員が容易に入会できるような改革をする為、年3回のZC主催の幹事会を主催して検討する事を確約し、大いに盛り上がった委員会とする事が出来た。



会員増強と退会防止責務の遂行に努力

9R1Z

ゾーンチェアマン L 佐野 金治

この度333C-地区9R1Zゾーンチェアマンを拝命し身に余る光栄です。この一年間諸先輩のつみ重ねて来ましたものを汚すことなく真摯に受けとめゾーン発展のためRCの手足となって最善を尽くす所存です。何とぞゾーン内メンバーの御協力を切にお願い申し上げます。

さてガバナー諮問委員会が去る8月4日に1Z2Z合同で開催され現在、各LCの最大の課題であります会員数の減少について原因究明と対策について全力で努力しなければならないと思います。本年ガバナーが提唱する「心で照らす奉仕の光」を実行し更に退会防止に力を注ぎ、又新会員の増強にもメンバーそれぞれが努力研賛しクラブ発展に寄与するよう願う。

今年度ZCとしてその責任を果すよう努力いたします。後藤ガバナーを中心とされるキャビネット活動の更なる推進に協力申し上げて内各クラブの活躍に期待しますと共に会員の自主性を尊重し最善を尽くしたいと思いますので御支援を宜しくお願いします。



残された任期に全力投球。

9R2Z

ゾーンチェアマン L 丸 淳一

私が、9R・2Z・ZCをお引き受けしてから早いものでもう4ヶ月以上が経過致しました。その間、ゾーン内各クラブを訪問させていただきましたが、いずれも心温まる歓迎を受け大変感激を致しました。過ぐる10月20日には、333C地区後藤隆一ガバナーをお迎えしての1Z・2Z合同のガバナー公式訪問があり、三役会議なども活発な意見が交わされました。現在、2Zの各クラブにおきましては、後藤隆一ガバナーの事業方針に則り、その奉仕活動と運営に鋭意努力をしている所であります。この4ヶ月間のゾーン内の特質は、老人施設や外国人留学生の受け入れ、派遣、更には、青少年健全育成事業へのアクト等に、金銭アクトを含めた多大な貢献のあったことでした。各クラブさんのご支援に感謝を申し上げます。今後、残された期間を将来に向かって更に熱の入ったクラブ運営がなされることと思います。



短兵急な成果は望めないが、不断の努力

10R1Z

ゾーンチェアマン L 竹本 三千男

前日ゾーン内全クラブの例会訪問を終了し、ほっと一息。さて9日後に迫ったガバナー公式訪問合同例会の手配で、配布される式次第などの原稿に校正の見落としがないか、必要な物品類に不足はないか、関係書類に目を通し2～3日中に準備万端整え、地区ガバナーをお迎えするに万全を期したく、作業に執り掛かろうとした矢先に、配達された本原稿の督促状に愕然、慌てて筆を執った次第です。

さて我がゾーンは、5～6年度の組織人員数は277人、8～9年度までの3ヵ月年間で52人の純減で225人に。その後今年9月末までの4年3ヶ月間に75人の純減があり150人に減少しました。各クラブ共に会員維持には意を用い、最善と思われる方策の限りを尽くしての結果であり減少傾向は今後もなお続くものと思われまます。

私は、この現象を断ち切るためには、会員増強が目下の急務であると取組んできましたが短兵急な成果は望むべくもなく残念です。今後も不断の努力をしてまいる所存です。



前半は公式日程が。後半が勝負。

10R2Z

ゾーンチェアマン L 富田 勲

ゾーンチェアマンの現在の急務としては会員の増加が必須であり、リジョン会議諮問委員会、各クラブ訪問にてその旨依頼。またキャビネット会議の趣旨伝達。会員の増加状況は9月30日時点で2名増加の予定。ガバナー公式訪問に向け1・2ゾーンで4回の打合せ会を開催、準備を整えている。前半ですので公式スケジュールに追われ本来のゾーンの仕事はこれからです。

活動状況 (クラブ訪問・終了行事等)

- 8月5日(日) リジョン・ゾーン合同会議
- 9月18日(火) 成東LC訪問
- 9月26日(水) 東金LC訪問
- 10月4日(木) 大網白里LC訪問
- 10月5日(金) 第1回ゾーンコンペ

1 R 猛暑の中での熱い対戦に、更に熱い大声援!! わんぱく相撲大会開催される

平成13年7月20日下総中山ライオンズクラブ恒例の第24回「わんぱく相撲大会」が、市内8子供会から総勢170人の男女の子ども達と大勢の父兄の応援のもとに開催された。当日は大変な猛暑（外気温37℃、館内気温40℃以上）で、会場となった地元の小栗原小学校体育館は文字通り熱気に包まれた。会長L岩崎隆司挨拶の後、行徳《角新会》の皆様から、相撲は“礼に始まり、礼に終わる”等、細かい注意事項があり、小学校低学年同士からの対戦が繰り広げられた。一戦一戦、周りからの熱い声援の大声が館内に絶えることなく、夕方近くまで事故もなく終了。会長の提唱する『地域の青少年育成』の目的が達成できた素晴らしい大会となった。参加した豆力士達には、スイカのお土産があり、1Zの他のクラブからも応援に来ていて、クラブ間の交流もスムーズに感じたと感じた。第25回以後も継続事業とされ、地域の青少年育成充実に更なる発展を期待したい。

(下総中山LC)



浦安ライオンズクラブ30周年記念 ベイ浦安歌謡フェスティバル

1 R

去る10月20日（土）浦安ライオンズクラブ30周年記念行事の一環として、市内各層から出演者をお招きして歌謡フェスティバル大会が浦安市文化会館大ホールにおいて午後5時より盛大に開催されました。

フェスティバルに先立ちクラブから社会福祉協議会、ボーイスカウト、ガールスカウト等、7団体に助成金の贈呈式がありました。

出演者は プロの生バンドをバックに いつものカラオケとちょっと違った感じを受けながら熱唱に、熱唱、素晴らしいノドを披露して頂きました。審査員には 市長など7人、出演者は25人、客席には市民約900人が入場され素晴らしい歌を堪能された事と思います。最後の出演者として浦安ライオンズクラブメンバー全員により〈浦安ライオンズクラブ30周年に寄せて〉と題して相撲甚句を披露しました。ドスコイ ドスコイ。福引きがあり、市内ホテルのディナー券、旅行券、ディズニーグッズ、佃煮等が多くのお客様に当たりました。

尚、本番の30周年式典は、2002年2月17日（日）市内、東京ベイホテル東急で開催されます。

(浦安LC)

1 R

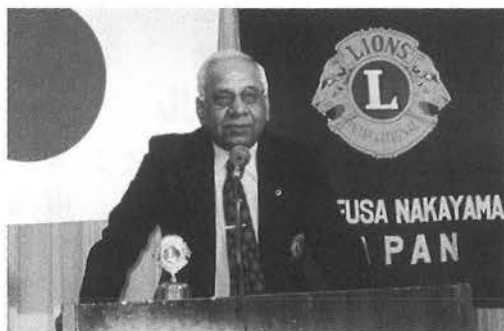
浦安ライオンズクラブが第20回 チャリティーゴルフ大会を開催

10月1日、姉ヶ崎カントリークラブに於いて、313名の参加により盛大に開催されました。当日は前日からの雨天の為、プレーをして頂く方には大変お気の毒でした。

午後は時折大雨のためグリーンが川のようになったり、前方が霞むほどでノーリターンかと心配でしたが参加者全員が無事にプレー終了出来た事を関係者一同安堵いたしました。

表彰式には、浦安市長をお迎えして、順位発表に一喜一憂して楽しい一時となり、盛大な内に終わりました。今回の獲得事業資金（¥1,908,043）は社会福祉、国際交流、青少年健全育成等に幅広く、お役立て致して参ります。

チャリティーイベント成功には、メンバー全員の努力の結晶が実を結んで満足感一杯。
(浦安LC)



21世紀はグローバル化の時代 1 R 国際化の波と紅一点の女性会長が誕生

今期の333C地区の中で、外国人が会長になったことと、女性クラブやネスクラブ以外で紅一点の女性が会長に就任したことは特筆に値する。外国人会長は浦安シーサイドLCのL.ラビンダ マリク氏。氏は、地域の教育機関や青少年組織との連携を図り、青少年にボランティア活動への呼びかけと、会員の知識や経験を生かしクラブの活性化に勤めること、また、広く社会にライオニズムの理解へのPR活動を展開したいと抱負を披露。

一方、紅一点の女性会長は浦安中央LCのL.平野芳子。会長は、女性らしく、会員相互の和を大切に、奉仕の基本は『心』にあることを強調した。二人はその存在感もさることながら、それぞれの個性を發揮し、奉仕の精神を伝えようと意欲的に活動に取り組んでいる。

(浦安シーサイドLC・浦安中央LC)



1 R

冷たいものを売っても、 心は温かい!!

去る8月4日（土）浦安社会福祉事業所の恒例になっている夏祭りに、浦安中央LCのメンバーが参加した。

午後4時には社会福祉・青少年委員会（L.岡島誠次委員長）が中心になり、17名の精鋭が出揃った。毎年、ポップコーン・かき氷・スイカ・飲み物などの販売を行っているが、そこは手慣れたもの、メンバーの息もピッタリで飛ぶように売れた。みんなと過ごす時間は早く楽しい。7時までの3時間がアツという間に過ぎた。尚、収益金の全額を同事業所に寄付させていただいた。

材料費：48,090円＊収益金寄付：20,920円合計69,010円の金銭ACT。並びに参加メンバー17名×3時間（PM4時～7時）＝51時間の労力ACTができた。（浦安中央LC）



足長育英会への寄附と盲導犬センターの支援を目指し

3 R

青空の下でナイスショット!!

2001年10月15日（月）第9回目となる柏中央ライオンズクラブのチャリティーコンペが野田市にある大利根チサンカントリークラブで、爽やかな青空の下、総勢170名を越える参加者を迎え行われた。今

回のチャリティーの大きな目的は、青少年の健全育成を目指し、あしなが育英会への寄附と盲導犬を育てるための資金獲得を目的として行った。あしなが育英会は災害や交通事故また自死の孤児を支えるボランティア団体で、心のケアを中心に奨学金や施設を整備し青少年の健全育成を目指している。記憶に残るのは、神戸の阪神大震災で残された300余名の孤児のためにレインボーハウスを建設し、目の前で親を亡くした子どもたちなどへの心のケアなどに努めていることだ。その他にも、バブルの崩壊後、企業の経営破綻や会社のリストラなどでの自殺者の急増…。また交通事故によって残された孤児もいる。時間の経過とともに記憶の片隅に置き去りにされてしまい勝ちだが、毎日、孤独と戦っている残された孤児がいることを忘れてはならない。（柏中央LC）

3R

会場はお祭り気分で大盛況 “チャリティーバザー”開催

去る10月21日(日)12時より、柏駅東口Wデッキにて、柏なの花LCチャリティーバザーが行なわれました。百円ショップも顔負けの10円20円という値段の品々…。果物、花鉢、スカーフ、洗剤、あふれんばかりの家庭用品の協力を頂き、買い求めるお客様で大盛況の一日でした。これもメンバー一人一人が自分なりの協力の仕方に参加した結果だと思えます。激安不況と呼ばれ寒々しい現在ですが“おしめない奉仕の心”と“事業を成し遂げる前向きな精神”で女性の感性を通して温もりを伝えつづけてゆきたいと思えます。

尚、毎年バザーは網膜色素変性症協会への資金獲得事業として行なわれますが、今回時に、来年8月JRPS世界大会が日本で開催されるにあたり、世界各国の参加者へ、柏なの花LCのはっぴをプレゼントする為の資金も含まれております。〔プラスワン〕今期当クラブに3名の方が仕事の都合をつけて戻ってきてくれました。なの花辞めたら寂しかったわ!の嬉しい一言を添えての再入会です。(柏なの花LC)



1000匹の ニジマス釣り大会を開催

4R

8月18日(土)好評の『ニジマス釣り大会』を貝柄山公園の仮設池でガールスカウトのお手伝いを得て行いました。

これは、元ガバナー、L岡野正義の提唱した統一テーマ“水辺のクリーン作戦”の下に行われたACTで、今年で3回目となりました。

子ども達にとり夏休みの楽しい思い出の一つとして、また、自然の中で遊ぶ楽しさや自然を大切にしたい気持ちが伝わればとの願いを込めて実施しました。

前日8月17日(金)午後1000匹のニジマスを放流しました。夜を徹して監視する中、ニジマスの塩焼きがビールのつまみになりました。

当日は、開始前より大勢の人が行列となり、午前8時から釣り開始。最初のうちは調子よく釣れて5匹釣った人は、次の人と交代してもらいました。釣れなくなった正午より、残った300匹位のニジマスのつかみ取りに変更しました。

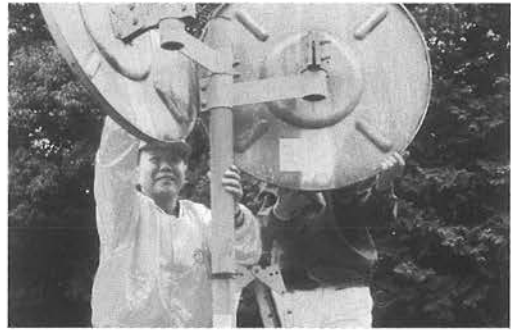
子ども、親及びメンバー全員が水の中に入り歓声を上げ、我を忘れた楽しい水遊びタイムとなりました。なお、参加人数は親も含めて300人でした。

(鎌ヶ谷LC)

4R

町内の交通安全を祈願し
カーブミラー清掃を全町あげて

2001年10月8日のライオンズデーには小雨交じりの天候の中、町内の大津ヶ丘地区を中心にカーブミラーの清掃を行いました。この労力ACTの歴史は古く、1983年3月に第1回目としてスタートさせ、毎年恒例の事業として年1～2回のペースで行って来ました。4年前、当時の会長L川崎栄三の『当活動を全町あげての活動に…』との提案があり、それに向け具体策の準備をしました。一つ目は、町内に点在する約900本のカーブミラーを地区毎に整理し、清掃順をルート化しました。更に、作業時の携行資料として使えるよう、地区別にそのルートを標示した住宅地図を作成しました。また、2つ目は、将来一般の人達にも参加してもらうためのネットワークづくりの第一歩として、地元の企業や流通関係者にも参加依頼をしました。今回も、前回同様に地元企業から4名の方の参加協力があり、地図とミラーの状況報告書の2つの資料を手にスムーズなACTを行うことができました。これから、もっと多くの人達の参加と町全体を巻き込んだ活動となるよう努力していきます。(沼南LC)

多数の親子連れ太公望が参加
第24回市民ハゼ釣大会盛大に開催

5R

9月2日(日)、千葉市を美しくする会主催の「第24回市民ハゼ釣大会」が花見川の浪花橋流域で開催されました。千葉クラブの太田繁Lが会長を務めている関係もあり、協賛と合わせ清掃アクトを行いました。

当日は好天に恵まれ、多数の親子連れ太公望が参加して大変盛況でした。そんな中での土手のゴミ拾い(空き缶)でしたので、多いに環境美化のキャンペーンになったのではと思います。その効果ではありませんが、太公望達はマナーを守り後片付けをきちんとしていました。子ども達が釣を通し、自然の大切さを知り、美しい環境をつくり守り育むことを学べればと思う1日でした。

(千葉LC)

5R

若いパパ・ママ対象に 赤十字救急法スクールを開催

千葉ゆうきのLCでは、『赤十字救急法スクール』を開催しています。

この救急法スクールは、例年日本赤十字千葉県支部と協賛して若いパパ・ママを対象に行っています。

参加した父母達は、実際にレサシベビー（乳児の模型）を使い、人工呼吸、心臓マッサージを体験したり、応急処置法を学んだりしています。その間、当クラブ員が乳幼児の託児を引き受けています。また、レサシベビー購入金を、毎年開催しているチャリティーディナーショーの獲得資金より寄贈しています。

その、チャリティーディナーショーは毎年開催され、獲得資金を6団体に寄贈しています。寄贈先は以下の通りです。

・千葉県地域ぐるみ福祉振興基金・千葉市社会福祉基金・日本赤十字社・千葉県支部・千葉県アイバンク協会・千葉市手をつなぐ育成会・社会福祉法人 清輝会。その他にも、青少年育成の推進として、『千葉地区高等学校親善柔道大会』『千葉市少年合気道連盟中央大会』に参加および協賛金の支援をしています。
(千葉ゆうきのLC)



不二学園の 夏祭りの夜はスチュワーデスも参加

6R

成田市大清水（空港近く）にある知的障害児養護施設不二学園夏祭りが7月21日（土）に行われました。我がクラブでは毎年この行事をバックアップしており、今年もメンバー28名が参加して盛大に行われ

ました。成田ライオンズクラブが強力的に支援を行った。

当日は、夕方4：30から8：30まで、お天気にも恵まれ、メンバーによる焼きそば作り、バスケットゲーム、山車引きなどのお手伝いをしました。

又、全日空のスチュワーデスの皆様、成田市内の花若連によるお囃子などボランティアグループが参加し、園児51名と共に夏の夜の楽しい一時を過ごすことができました。

(成田LC)

6R

下総町ふれあい納涼祭りの 参加について

下総町最大のイベント第15回納涼祭りが8月16日（木）に町営グラウンドで開催されました。子供たちのためのイベントがたくさんあり、親子づれで参加するパターンが多く、町民だけでなく、近隣の市町村からもたくさんの人たちが見えていました。3,500名の参加があったそうです。

我がクラブも設立時より参加しており、町商工会を始め、各種ボランティアの人たちと協力し合い、行事を盛り上げました。

お祭りは夕方4：30から始まり、芝生のグラウンドの中央にステージを設け、そのまわりに各団体のテントが立ち並ぶという形で、参加者はステージのアトラクションを見たり、芝生で遊んだり、まわりの模擬店、屋台で買い物やゲームを楽しんでいました。我々も入り口付近で輪投げゲーム、バザーをやり、大変な人気でした。あっという間に終了の9：30が過ぎ、最終の花火が終わったのは10：30でした。年々盛大になっていくこの行事に、来年も趣向を凝らして参加協力を続けたいと思います。（下総LC）



四街道福祉作業所の生徒と

ボウリング大会での交流

6R

8月24日（金）四街道第一福祉作業所の生徒父兄の皆様と四街道ライオンズクラブの交流ボウリング大会を千葉旭ボウリング場で開催しました。

当日は、総勢50名の参加で全員一体になってボウリングを楽しみました。クラブ提供のお弁当、飲み物を食べながら反省会、次の企画などを話し合い、有意義な一日を過ごしました。

その後、所長の中島武彦様より礼状が届きました。それによると、日頃生徒は作業所内での活動が多く、外での行事が少ないので、このようなイベントを非常に楽しみにしており、今回は思い出に残る行事であったということでした。

我々も、参加して初めて判る喜びというものを再発見しました。次へのステップとしたいと思う。（四街道ライオンズLC）

6R

トンボ池の草刈り に汗を流す

8月25日、今までの暑さと違い、チョッピリ涼しさが感じられた朝、服装と道具を整えてトンボ池の草刈りへと向いました。

電動草刈機1台と各自持参の鎌で心もとないと思いつつ現場に到着。環境保全委員長栗飯原L、委員の藤井L。前会長平松Lが持参した電動機が4台もあり感謝！

栗飯原、藤井両委員は器用に機械を操作し随分と手馴れている様子。腰痛もちには腰をかがめて手鎌で刈るのさえ少々きつuitとを感じる。会長佐川Lも不慣れな様子である。林L、四街道ライオンズの楠岡L（前RC）も参加し、会員13名も一生懸命に汗を流して作業を進めている。不器用さがなんとなく微笑ましい。

奉仕は頭で考える程そう簡単ではない。労力を提供すること自体は難しくないがハウツーは何にでもついて廻る。一人の力より皆の力を結集した方が知恵も湧き大きな事ができる。チームワークは、一人は皆のため、皆は一人のため（ONE FOR ALL, ALL FOR ONE）に行動することが大事だと思う。四街道一物井間を電車で通るときは、トンボ池の看板を見つけて欲しい。
(四街道中央LC)



第1回 愛の献血運動で

44,800cc獲得

7R

去る7月26日（木）、佐原LS・佐原青年会議所ならびに会員事業所の皆様方の絶大なるご協力をいただき、佐原ライオンズクラブ主催で今年度第一回目の愛の献血が、ショッピングプラザ清見屋、ならびに佐原市中央公民館に於いて行われました。今年の連日の記録的な猛暑の中、当日は実に爽やかな風の吹く絶好の日和に恵まれ、会員延べ85名の協力の下、実に献血受付170名を数え、採血者142名、採血量44.800cc（内成分献血20名）という成果を上げる事が出来ました。佐原ライオンズクラブでは、当クラブ主催の年三回の献血活動をはじめ、千葉県赤十字血液センターや佐原市とも連絡を取り合い、各官庁、事業所、団体、学校関係各位にも協力を頂きながら、佐原地区での安全で安定的な献血活動に力を注いでおります。

また、各会場に於いては、感謝の気持ちとまた次回の協力を呼びかけて、地元の皆様方にライオンズクラブ活動を少しでも知ってもらおうと、ささやかではありますが、名入記念品の配付を行い、同時にPR活動も行っている次第です。
(佐原LC)

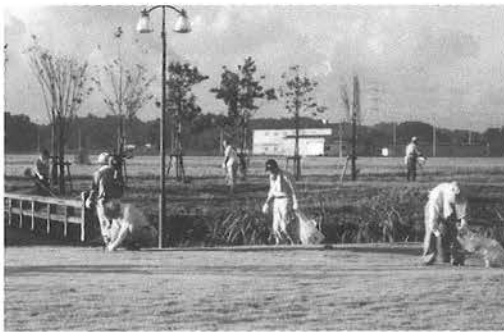
7R

米寿を迎えた 町民を表敬訪問

去る9月9日(日)、東庄ライオンズクラブは、主催事業として28年間に渡って継続してきた「米寿表敬訪問」を今年も大勢の会員の参加を得て実施しました。

当日、午前9時に町公民館に集合した会員は、それぞれの分担に従って5地区に別れて訪問を開始しました。今年度の訪問者数は、5地区合わせて55名です。訪問に当たっては、前もって事務局からその趣旨を書面で連絡しておいたので、殆どの方が在家、私たちの訪問を待っていてくれました。米寿のお祝い品として、紅白饅頭とシーツを贈呈し、長寿のお祝いを述べ、長生きの秘訣を教えて頂き、最後n記念の写真撮影をして表敬訪問を終えました。表敬訪問終了後、町内の食堂で反省会をひらき、5地区の代表がそれぞれ地区の訪問の様子を発表し、問題点を話し合いました。

東庄町においては、米寿を迎える人々の数が年々多くなっています。このことは、東庄ライオンズクラブにとって、予算面では大変ですが、社会的には喜ぶべき現象であり、今後とも表敬訪問は継続していきたいと考えています。
(東庄LC)



早朝のさわやか奉仕 地域に根差して

7R

本クラブが主催する恒例の事業の一つである「天の川公園環境美化作業」が、去る8月9日(木)、早朝6時から8時まで行われた。「天の川公園」は、利根川に隣接し、その名のとおり小川を中心とした公園

で、皆さんに憩いの場として親しまれている。春は桜、花菖蒲、夏は全国でも珍しいオニバス、そして四季を通じて魚釣りの名所として広く愛されている。本クラブは稚魚の放流も行っているが、美しい自然環境を守り、自然とふれあいの町づくりの一助を願って地域への奉仕活動に取り組んでいる。会員36名中、28名の参加で、草刈り、除草、植栽の手入れなどを行う。草刈り機をもつ会員、造園の腕をもつ会員の活動は見事である。

心地よい汗を流した後、公園内の「四阿」で、8月の第一例会を行う。そして、軽い朝食会をもつのが毎年の習わしである。自家製の“おしんこ”などが持ち寄られ、たいへん和やかな雰囲気の中で、作業の苦労話も充実感、奉仕の喜びと変わって、ライオンズシップの高揚となる事業である。

(神崎LC)

7R

交換学生が アメリカとニュージーランドへ

公民館で結団式を済ませた一行のマイクロバスが、成田空港第2ターミナルに到着した。若干12才小学6年生の我が子の旅を案ずる両親と家族も続々と集まって来た。

可愛い派遣生は国際平和ポスターコンテストで、松山美術館の此木画伯に認められてクラブ入賞をはたした八日市場ライオンズクラブが誇る平和の使節団です。派遣生5名、江波戸会長をはじめ女性のインストラクターを含めてメンバーが7名、友好クラブの300A2區台北市龍山獅子會の招きで5日間、頼會長ほかメンバー宅にホームステイして、生徒数が2322名の老松國民小學校に3日間体験入学します。今年で5年目になります。

そして5年が経ち、高校2年生になった森美枝は7月14日にオレゴンへ。那須ちひろは7月15日にニュージーランドへ2001年の夏期YE派遣生として羽田空港を飛び立った。それぞれの訪問国で歓迎され、例会に招かれ、家族とは涙で別れた楽しく有意義なYE生活、21才までにもう1度経験したい事を希望して、9月の第1回例会・帰国報告会を閉じました。(八日市場LC)



大阪少年チームとの

交流会・親善会

7R

2001年8月5日午後5時より多古町のあじさい広場に於いて、ライオンズクラブ主催による『親子ふれあい祭』が開催されました。

この祭に、東西対抗少年野球大会に参加した大阪チームと地元の多古ナイターリーグの子ども達を招待し、交流を深め楽しい祭となりました。大阪チームの子ども達は、例年行われている東西対抗少年野球大会に参加のため来県し多古町にホームステイするようになりました。

多古LC勝又会長の挨拶、大阪の監督の謝辞、記念撮影の後、クラブ員とチームの父兄の作った模擬店(焼き肉・焼きそば・かき氷等)により、楽しいひとときを過ごしました。

(多古LC)

7R

金魚すくい・オリジナルカー試乗会 工場見学に園児招待

大栄幼稚園・大栄保育園の園児達を9月12日10時から日本オートモビルカレッジを会場にして大栄ライオンズクラブ主催で標記の内容で招待した。その一端を紹介したい。参加人数は園児118人。

今年は梨不作の為従来の梨狩り招待に変わる奉仕事業として行われたものである。会場の日栄学園さんには金銭・労力・会場準備で大変なご奉仕を頂いた。

大喜びの金魚すくい。畳1枚分程の広さの金属箱を2つ用意し、その中に金魚を約千匹泳がせ、園児達が替わり番に各人5匹ずつすくい上げる。園児達は金魚すくいに熱中し大賑いで大盛況であった。金魚すくいの金魚とは別にお土産用の金魚を1人5匹ずつ用意し、ライオンズクラブ会員がそれぞれの園までお届けした。

ここに1つのエピソードが生まれた。金魚を持ち帰った1人の園児が水槽をせがんだので祖母が生け花用の水盤に水を入れて渡した。園児は大喜びで大切に、夜寝る時自分の枕元において寝た。安心してぐっすり眠った園児。さて、朝起きてみると金魚が1匹足りない。金魚は何処へ??? (大栄LC)



光町木戸海岸の

海亀の保護と海岸の清掃

7R

昨年より15日早く6月26日最初のアカウミガメが産卵し、8月2日まで合計5頭の産卵があった。2か月後に孵化し海に帰るまでが、保護と海岸清掃の期間で、長期間のACTとなった。

前年の経験をもとに、8月21日クラブ内研修を実施し、直ちに連日4時30分から2時間の海岸清掃と早朝5時に5箇所の見守る活動を実施した。車のわだちを埋める作業と流れ着くペットボトルの整理清掃に追われた。誌面に詳細の経過報告ができないが、延べ330時間いわたっています。

近年には珍しく台風の接近が多く、特に11号台風の置き土産は遠く渡って来た椰子の実・遠方の流木・ペットボトル・缶・ビン等、海岸に空間がない程大量に打ち寄せられ閉口いたしました。

そうしたなか8月28日に最初の孵化があり、9月5日第2番目の孵化し残りの3箇所を待ちながら、活動を継続しています。8月27日現在、延べ330時間のACTとなっています。(光LC)

7R

第23回の児童生徒

科学作品展の共催

夏休み明けの9月8日旭市の東総教育会館での「科学作品展」へ大勢の親子づれが訪れた。

小中学生が夏休みに精一杯頑張った科学作品見学のために。

小中学校の子供たちは、スポーツ・音楽・

書画等の発表の場は多くあるが、科学的な作品や研究の発表の機会は、この展覧会だけである。

海上郡・旭市16校の小中学校から選ばれた269点の工作与177点の論文が展示され、その中の10点の特選と80点の優秀作品が表彰された。また、上位の7点が県大会へ出品される。

この作品展は教職員組織の「海上郡市教育推進委員会」の主催で、旭ライオンズクラブは当初から共催団体として協力をしてきた。飯岡と上海のライオンズクラブの応援も頂いている。

ライオンズクラブとしては金銭と労力のACTで、中心的な活動は教職員と子供である。このような側面的協力も継続したいと考えている。(旭LC)



少年・少女球技大会を開催

7R

ナイス・ダンクシュート

去る7月20日(金)、飯岡町において飯岡ライオンズクラブ後援による、少年・少女球技大会が開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、日頃の練習の成果を発揮し、力の入った熱戦が繰り広げら

れました。

小学校高学年、約200名の参加で、夏休みに入ったばかりとあって、多数の応援もあり、盛大な球技大会となりました。

試合は、少年の部はソフトボール、少女の部はミニバスケットボールの競技に分かれて、各地区ブロック代表チームによるトーナメント戦が行なわれました。

子供達の全力疾走する姿・最後まで諦めずボールにくらいついていく姿・ひたむきさ。そして、ナイスバッティング・ナイスピッチング・ナイスシュート・はちきれんばかりの笑顔に感動を覚えました。

勝ったチームにも、惜しくも負けたチームにも、最後まで惜しめない拍手が送られました。

(飯岡LC)

7R

山田町LC・干潟LCの合同ACT

交流体験学習の支援。

去る10月5日（金）、山田・干潟町特殊学級交流学習会が開かれた。小・中の学級生15名引率教員12名、山田・干潟ライオンズクラブ役員6名が学習支援者として参加し、総員33名が成田ゆめ牧場での動物とのふれあいやバター作りなどの体験学習をこどもたちと一緒に行った。

これは山田町LC、干潟LCの2クラブが協力して青少年健全育成の一環として、山田・干潟町特殊学級の活動の進展のために資金援助と指導活動支援として取り組んでいるものである。

当日は曇りがちで、時々小雨が降ることもあったが動物とのふれあいや芝すべり等屋外での活動にも支障はなく、晴れ間の際に十分に楽しむことができた。ライオンズの役員も交流学習会の総務から引率担当グループを割り振られ、それぞれのこどもたちとふれあいを深め、友好親善と信頼関係を築きながら、楽しい体験学習をすることができた。2町の合同による交流学習会に、2つのLCが協力して支援活動を継続していることは意義深いものがある。
(山田町LC)


**ライオンズクラブの
PRボードを設立した**

8R

袖ヶ浦ライオンズクラブ（会長鈴木康夫）は、2001年8月初旬、袖ヶ浦駅前大通りにライオンズクラブのPRボード（長さ11m高さ2m）を建設した。

地域の皆様にライオンズ活動が少しでも理解されるきっかけになってくれれば幸いであるという願いを込めての設立である。

今後このようなPR看板が、千葉県そして全国各地にもっと広がることで、もっと有意義なPRになるのではないのでしょうか。

今回のPRボードの設立が、クラブ活性化と同時に新会員の勧誘に役立ち、また、広く一般に訴えたことで今後の更なる成果を期待したいと願っているところであります。

(袖ヶ浦LC)

8R

地元に着した奉仕で

フリーマーケットを

君津ライオネスクラブは、7月12日第1例会に会員持ち寄りの品物でオークションを開いた。毎年恒例になっている行事であるが、親クラブの協力もあり、今回は、35,920円の事業資金を獲得した。



7月19日《君津ふれあい館》にて献血が行われ、当ライオネスクラブは来場者への湯茶接待、記念品袋詰め等を行いました。この日もかなりの猛暑により、来場者の心配をしたが、市役所や警察署等に直接呼びかけたのが良かったのか、214名の来場者があり、記念品が不足するほどでした。

8月17日使用済み切手、プリペイドカード、書き損じ葉書、外国コインをLS会員が1年がかりで収集した物を“地元に着した奉仕を”の会長方針により、君津市のボランティアセンターに寄贈した。

9月2日に行われた『クリーンシティフォーラム君津』のフリーマーケットにてLS会員から収集した品物を販売した。前日の値付けにも多くの会員が参加したが、当日は天候に恵まれ、市政30周年のイベントの効果もあり、約3000人の人手で賑わい、売上金85,110円になった。(君津LS)



ヒカリモの生息する

9R

洞穴のサンゴ層清掃に汗

館山市内にはヒカリモが生息することで知られているが、館山ライオンズクラブでは10月4日にその洞穴やサンゴ層の清掃作業を実施した。

ヒカリモが生息するのは沼のサンゴ層に通ずる道沿いの洞穴にあり、山すそをくり貫いた高さ1m、奥行き2mほどの小さな穴。

洞穴の中には水が溜まり、黄金色の光を放つヒカリモが群生しているが、貴重な自然である。また沼のサンゴ層は、市の有形文化財に指定されている、これも貴重な自然の財産で、保護していくことは現在の私たちに課せられた使命でもある。館山ライオンズクラブでは継続事業としていく方針である。

昨年、安房高生物部の生徒が、ヒカリモとサンゴ層の関連性について研究論文を発表し、注目を浴びた。今の風潮として話題を集めると見学する人が多くなることも予測され、踏み荒らされたりする心配も出てくる。悩みと対策も今後の課題である。

(館山LC)

9R

特別養護老人ホームで

台湾ショーとお寿司の慰問

房総勝浦ライオンズクラブでは、老人福祉事業として「大原シルバーガーデン」の慰問を定期的に行っている。

その主な慰問のひとつは、お年寄りの方の理髪です。理髪は専門的技術が必要で、素人には難しい作業だが、幸いに理容室経営のメンバーが居るので奉仕をお願いしている。毎月第3火曜日を「理髪サービスデー」として3月より実施しているが、毎回、10人前後の人たちが、サッパリとした頭髪に手をやり、大喜びで感謝されている。

また「ホテル三日月」の協賛で、お寿司を食べながらの台湾ショーの観劇を企画しました。なかなか好評で、今後も継続していきたいと考えている。ホームに居る方は老人なので、「懐かしのメロディ」も喜ばれるという例が多いようである。国内現役最高齢男性歌手といわれる「塩まさる」さんは、92歳を迎えた現在も衰えぬ美声と一緒にナツメロを歌い、年下の老人たちを勇気づけ、慰問に積極的らしいので参考にしたい。(房総勝浦LC)



笑顔と感謝の言葉が活力!

10R

チャリティをあおぐ『うちわ大作戦!』

当クラブの事業資金獲得の最大ACTである『うちわ大作戦』は不思議な巡り合わせから誕生した。L.渡辺、L.古宮の両夫婦が宿探しのため、箱根から小田原そして平塚で立ち寄った寿司屋さんが、湘南平塚LCのメンバーの店で、歓談のうちに成果を上げている七夕うちわACTが話題となり「茂原でもやりませんか？」との勧誘を受ける。その後交流を深めながら、平成9年7月第1回を行い、大成功のうちに終了。これに自信を得て5回目の今年は不況にも関わらず、全会員一致協力し「心身障害者福祉施設設立」を第一目標に協賛企業200社、制作本数26,000本、チャリティー募金総額514,212円を達成した。来春にはまた心身障害者親の会のために働くことに誇りと喜びを感じながら大作戦が始まる。弱い人達の笑顔と感謝の言葉を活力源として。

(茂原中央LC)

異文化に接した体験レポート①



青少年交換事業

Katori E.Raisane フィンランド 18歳 女性

第1ホスト 金原二郎 (木更津LC)

第2ホスト 大谷 昇 (船橋北LC)

滞在期間 2001年7月6日～8月8日

木更津の高校に体験入学。キャンパスでのキャンプも楽しい思い出です。

私は2001年の7月6日に日本に着きました。最初のホストは金原ファミリーで、3週間お世話になりました。1週間目は時差ボケとホームシックで、トテモ疲れマシタ。でも家族の一員のように良くしていただき、すこしづつ疲労がとれ日本でのホームステイが楽しく感じられるようになりました。



金原ファミリーのお嬢さんが通う高校に3日間体験入学させていただきましたが、フィンランドと日本の学校システムの違いに、とても興味をそそられました。同世代だとすぐ友達になれます。

金原ファミリーと一緒に公衆浴場にも行きました。ミナト・ヨコハマも楽しかったデス。海辺で体を焼いたり、トウキョウヘショッピングに行ったり、アッと

いう間に2週間が羽根の生えたように過ぎ去ってしまいました。思い出たくさんの木更津でした。

セカンドファミリーは大谷さんデス。船橋市にお住みで、家族は6人です。私の家族は両親と私の3人なので、3世代が同じ家に住んでいるのはトテモ魅力的でした。大谷さんは私にとっても興味深い計画を用意されていました。御宿の花火大会やお祭りの参加。船橋北LC主催の屋形船でのウェルカムパーティや私も所属しているガールスカウトの集会などです。

ディズニーランドも楽しかったけど、柏の大学のキャンパスでのライオンズクラブ主催のサマーカーンプは日本では最も印象に残るひとつでした。とても良く計画されていて、千葉県内に来たYE生が一堂に集まり、世界中にたくさんのお友達ができました。参加した人たちは心から楽しみ、また一緒に過ごしたいと思いました。日本での5週間は、日本や日本人について多くを学びました。これからの私の生き方に有意義であったことは間違いアリマセン。

異文化に接した体験レポート②



David Shorley アイルランド 18歳 男性

第1ホスト 市村 衛 (柏LC)

第2ホスト 山中三千男 (千葉幕張メッセLC)

滞在期間 2001年7月1日～8月14日

暑いニッポン。お寿司のサンプルは本物と区別が付きませんデシタ。

着陸…。長いフライトの末に、ついに来ました。ニッポンへ…。僕の人生の中で、最高の5週間を紹介シマス。

活気に満ちた成田空港は、2組のファミリーが迎えに来ていました。初めに柏に行き、市村ファミリーのお世話になりました。ドアを開けて家に入った瞬間、何故か不思議な気分。まさに本当の市村ファミリーの子供の一員として扱ってくれたのです。

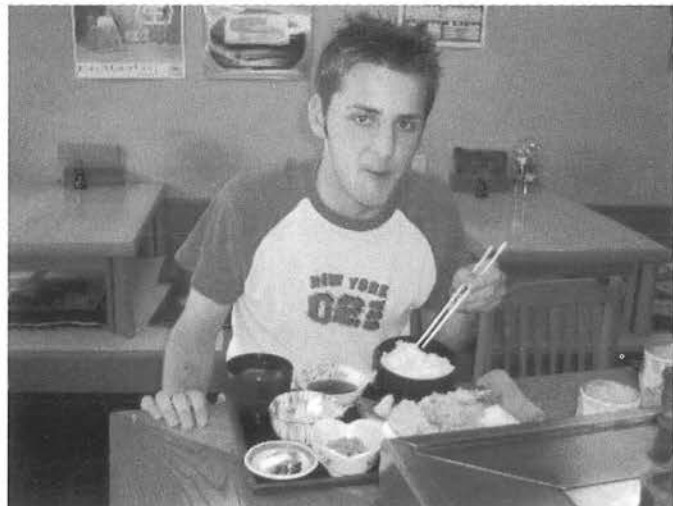
市村さんには日本についてイロイロなことを教えていただきました。とても驚いたのはお寿司屋サンです。お寿司のサンプルは、まったく本物と区別がつかず、ショックでした。僕の国のアイルランドではレストランには食べ物のサンプルが無いからです。実はショックを受けたのは食べ物だけではアリマセンでしたが…。でも日本の人たちは親切で、とてもフレンドリーでした。5週間滞在して悪いメモリーは、何ひとつありませんでした。

僕が初めて覚えた日本語は「暑い」です。市村さんの話では、今年は特に暑さが厳しいとのことでした。持ってきた冬物の洋服は、スーツケースにしまい込んだままでした。本当に暑さにはマイリマシタ。とってもアツカッタデス。でもいろいろな素晴らしい所へ連れて行っていただきました。日光・ヨコハマ・水戸・お台場…etc。日本文化に接し感激しました。

ライオンズクラブのサマーキャンプにおいても日本文化に触れました。ライオンズクラブの人たち「Thank you！」

山中ファミリーの所ではノルウェーから来たヨンと一緒に楽しく過ごしました。日本は野球が大好きで、応援がスゴイ。

沢山の体験と学ぶ機会を与えてくれたみなさんに深く感謝シマス。数えきれないほどのメモリーと可能性を与えてくれて「Domo arigatou gozaimasu」



異文化に接した体験レポート③



青少年交換事業

森 美枝 16歳 女性

SP.LC 八日市場LC

派遣先 アメリカ合衆国オレゴン州

滞在期間 2001年7月14日～8月27日

想像以上に広大で豊かな自然に囲まれた町・オレゴン州プラインビル

私は7月14日から8月27日までアメリカ合衆国オレゴン州のプラインビルという所に滞在しました。行きの飛行機の中では眠れないほど不安でしたが、ホストファミリーの方は、以前にも交換留学生を受け入れたことがあるらしく、私のジェットラグのことまで気を遣ってくれました。

シアトル空港に着いてすぐホストマザーと彼女の妹さんとレストランに行き、ハンバーガーを食べました。私は大好物なのですが、アメリカのソレは大きすぎて食べきれませんでした。最初にアメリカという国のスケールをハンバーガーによって実感させられたという訳です。

3日間、シアトルのホストマザーの親戚の家に滞在し、マイクロソフト社の見学や馬の品評会などに連れて行っていただき、4日目の朝、ホストマザーの運転で、本来のホームステイ先であるオレゴンに向かって長距離ドライブに出発したのです。丸一日走り続けて到着したプラインビルは、想像していたよりはるかに小さな町でした。なにしろ町には信号が4つしか無いのです。

ホストマザーは一人暮らしなのに、私の家より大きく立派でした。散歩しながら町を案内されていると、出会う人たちが私の名前を知っているのでビックリ。出発前からホストマザーとEメールを交換していたので、町の人たちは皆、私の来訪を待ち望んでいたのだそうです。

プラインビルで暮らし始めると、最初に思ったほど小さな町ではないことに気づきました。人口こそ少ないものの町の面積は想像以上に広大で、豊かな自然に囲まれた素晴らしいところだったのです。日本の感覚で、家が立ち並んでゴミゴミしたところが町だと思い込んでいたのです。

7月末にホストマザーの身内の親睦会に出席するため、キャンピングカーでミネソタ州に出かけました。オレゴン→ワシントン→アイダホ→モンタナ→ワイオミング→サウスダコタ→ミネソタと7つの州を横断しました。車窓の景色は一面の草原と放牧されている牛だけでした。父は私と同じ歳に、やはりオレゴンにホームステイした経験があり、その父が言っていた通りの大自然がそのまま残っていたので、ちょっと感傷的になりました。

ミネソタでの親睦会は国中の35人の親戚が集まって、お墓参りしたり、世間話をしていました。日本のお盆みたいなものでしょうか。私はピアノを弾いたり、子供たちと遊んだりして過ごしましたが、このころになって、ようやく英会話に自信が持てるようになってきました。

ミネソタには3日ほど滞在しました。帰りは来た時とは違うルートです。ミネソタ→サウ



スタコタ→モンタナ→ワイオミング→アイダホ→オレゴンです。途中、イエローストーン国立公園で一泊しました。広大な景色にバッファロー、コヨーテや鹿などの野生動物が迎えてくれ、本当に素晴らしい所です。日本人観光客が多く訪れるというのもわかります。

プライトンビルに戻ってからは、キャンピングカーの掃除など、自分に出来そうだったことはホストマザーに申し進んで手伝いました。

オレゴンのプライトンビルに戻ってからの最後の2週間はとても短く感じられました。地元の中・高生主催のクロスカントリーランニングキャンプに参加したのですが、私はホストマザーと主に料理を担当しました。

1週間のキャンプでしたが、ある日、楽しそうなので山登りに参加しました。いざ登り始めるとその山は思ったより高く険しかったのです。私は足がつったりして途中断念しようかと思いましたが、友達が「アナタあなら出来るわヨ」と励ましてくれたので、がんばり続けました。

頂上に着いた時はヘトヘトでしたが、皆が拍手誉めてくれました。私も努力すれば出来るんだ、と実感しました。後で聞くとその山は3,500mもあったそうです。

山登りの後は、皆と語り合ったり一緒に映画を見たり、とても楽しい日々を過ごしました。友達もたくさん出来たし、日本に帰りたくないなーと、思ったりもしました。

お別れの日が来ました。空港でホストマザーに「必ずまた来ます」と約束しました。その約束を果たせるように、これからいろいろな意味で頑張っていこうと思っています。

最後にライオンズクラブの皆様にも心からお礼を申し上げます。私たちがのような青少年に、このような機会を与えてくださる世界的なライオンズクラブの組織と、ライオンズクラブのメンバーの皆様にも感謝いたします。

6週間に及ぶ今回の旅は、これからの私の生き方に大きく影響することは間違いないような気がします。

ライオンと呼ぶるる人



We Serve

今期9月までに入会された114名の精鋭

R	Z	クラブ名	入会月	新会員名
1	2	浦安	7	佐久間 清
		行徳	9	鈴木 啓一
		浦安シーサイド	7	高橋 須美代
2	1	松戸南	9	大橋 満
	2	松戸東	7	田中 重守
3	1	柏	7	嶋津 健
			8	谷口 英治
	印西	7	井上 昌明	
		7	武藤 孝幸	
	2	柏グリーン	7	杉田 祐司
			7	坂東 民男
4	1	船橋中央	7	正木 秀五郎
			9	原 純一郎
	2	鎌ヶ谷	9	萩田 善男
				皆川 圭一郎
				高橋 康雄
				塙 盛人
3	八千代	7	橋本 孝	
			飯田 耕司	
5	1	千葉	8	堂本 暁子
			7	木村 三津子
			8	新海 早苗
			7	千葉幕張メッセ
	2	千葉花見川	7	田島 康生
				8
3	市原	7	斉藤 馨	
6	1	成田	8	飯田 耕司
			7	高岡 公代
			7	大根 稔夫
	2	八街	9	近藤 正之
				7
2	四街道中央	7	宮下 尚基	
7	1	東庄	7	宮崎 一彦

R	Z	クラブ名	入会月	新会員名		
7	2	多古	9	平山 均		
				旭	8	飯田 豊之助
						升 幸彦
3	山田町	9	高岡 顕尚			
			藤澤 勇三郎			
			高須 孝			
8	1	鏡子・ウェストポート	9	古旗 邦夫		
				本城 利春		
				宮内 幸雄		
				笠上 英一		
8	1	袖ヶ浦	7	榎本 雅司		
				高野 隆晃		
				前田 純夫		
		木更津金鈴	8	宮崎 健敏		
				勝畑 元宏		
				出口 恭明		
9	1	木更津アクア	8	林 有三		
				財津 修一		
		館山	7	平島 賢二郎		
				石井 敬之		
		館山中央	7	原口 幸春		
				堀口 聰		
2	館山北	9	浅沼 孝司			
			岡崎 正市			
			黒川 康司			
			山崎 登喜男			
10	2	鴨川	7	鈴木 健史		
				木原 新二		
				小林 隆正		
2	房州白浜	7	碓井 順子			
			房州朝夷	7	飯田 清己	
			大網白里	7	野村 徹	
2	九十九里	9	吉田 幸宏			
			9	吉田 幸宏		

※柏みどりLCと行徳リバーサイドLCの会員名は「特集記事」に掲載されています。

変革・共創・前進

花木萌え同志集う第48回地区年次大会

ライオンズクラブ最大のイベントである地区年次大会が、明年4月29日の「緑の日」の祝日に開催される。開催地は柏市だが、会場は初めて大学キャンパス（広池学園・麗澤大学）で行われる。

広池学園は構内にゴルフコースも擁する広大な森に囲まれたキャンパスで、四季折々の自然の豊かさは地域の憩いの場ともなっている。

年次大会委員会では、素晴らしいこの環境を生かし、大会そのものも虚飾と無駄を排し、ゆったりした雰囲気の中にも実効的で斬新な企画を立案中で、期待される。

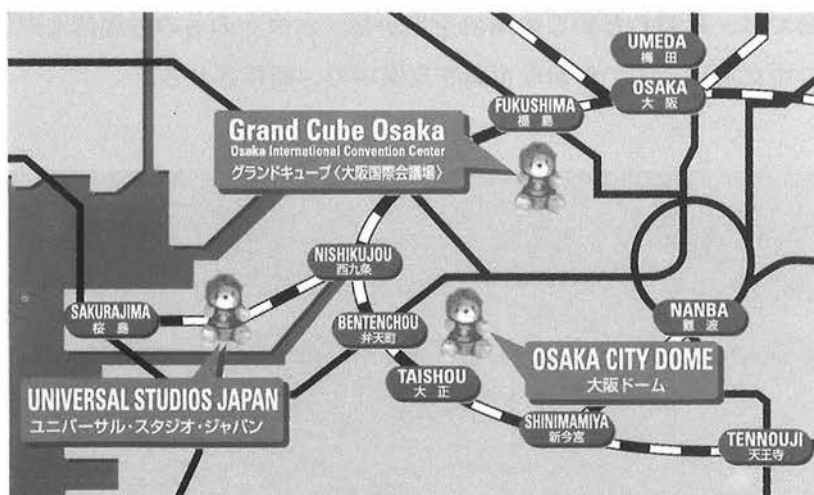


※千代田線・南柏駅東口より徒歩約15分。タクシーまたはバスで約5分。

LIONS CLUB INTERNATIONAL CONVENTION
JULY 8-12, 2002 OSAKA, JAPAN

2002年 第85回 大阪国際大会

日本では24年ぶりに大阪で国際大会が開催されます。地元の大阪ホスト委員会では海外1万人、国内4万人の大会参加を希望しています。C地区では地区年次大会規模の1,200名を目指していますが、各クラブの反応は積極的で、全員登録、移動例会、親睦旅行を兼ねて…というクラブが相次いでいます。



- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 7月9日(火) | インターナショナル・パレード
C地区「ガバナーを囲む夕食会」 |
| 7月10日(水) | 開会式 |
| 7月11日(木) | インターナショナル・ショー |
| 7月12日(金) | 投票日・閉会式 |

◎今回の国際大会登録はキャピネットで一括して登録いたします。詳しくは事務局宛お問い合わせください。 TEL 043-243-2528

ライオンズ・スピリット探究

ライオン誌日本語版事務所発行の「ライオンズ・スピリット」は、ライオニズムのダイジェスト版と言われ、アメリカで誕生したライオンズクラブの全てを分かりやすく解説している。

右肩上がりの日本経済が、一転、長期不況の荒波に遭遇している今日、クラブ運営も改革と変革を迫られている。ライオニズムの原点を再録連載する。一読して会員減退の防止と増強の秘策を。

[楽しいクラブ・ライフへの工夫]

いたずらに例会出席を義務づけても、それだけで例会が盛り上がるわけではありません。退会者にその理由を調べてみると、出席要請が強すぎるとか、例会が退屈で苦痛さえ思える…というケースが目立ちます。月2回の例会を軸にしたライオンズのクラブ・ライフに魅力のないことが原因でしょう。

欠席者の無理解・無自覚をなじる前に、クラブ運営そのものについて反省と自覚を促すべきです。テール・ツイスターの果たす役割も重要なことは言うまでもありません。



あるクラブが、いつもの例会場で夕食抜きで例会を簡単に済ませた後に、近くの割烹で懇親会をやることにしたら、例会出席50%以下、懇親会出席100%という結果となった例があります。楽しければ黙っていても顔が揃うということでしょう。

例会が毎回単調な繰り返しでは、誰でもが退屈するのは当たり前です。着席場所の固定化を防いだり、移動例会で気分を変える、食事の内容を考えてみるなど工夫が必要です。いろいろな同好会の充実もひとつの方法です。

きゃびねっとかんじ・ほーむぺーじ

<http://www.cabinet.secretary.co.jp/...?>

(コノアドレスハイワユルヒトツノデザインジョウノカザリデス。アクセスフノー)



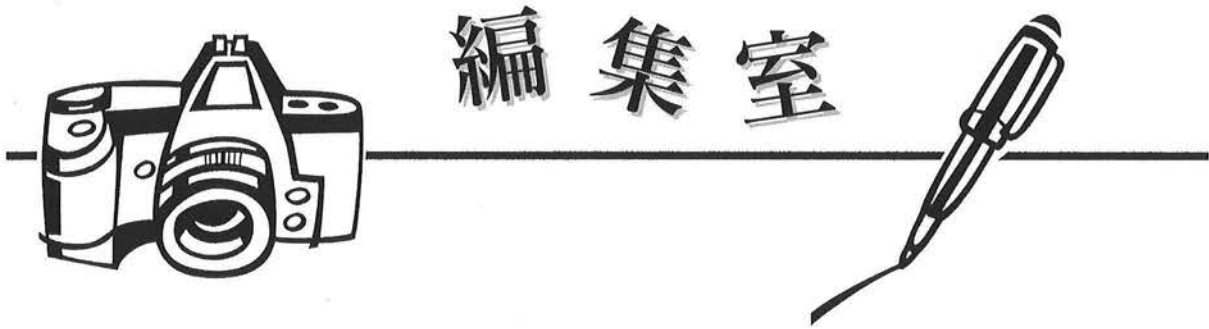
@8月18日から始まったガバナー公式訪問が11月10日で終了した。北は野田から南は房総の館山まで車での総走行距離は1,736kmに及ぶ。車窓の風景も灼熱の下で咲くヒマワリの花から、ススキの穂が揺れ櫛の紅葉へと移り変わった。

@千葉県は広く南北に長い。筑波風の北総から黒潮が回流し温暖な南総まで、気候風土に大きな差異があり、そこに住む人たちの慣習や気質もまるで違う。しかし、ライオンズに対する真摯な情熱は同じだった。

@近年、健康指向の高まりから全国津々浦々で様々な市民マラソンが開催され、千葉県内においても主な大会は10指を数える。その多くは新聞社等が後援し、地元の教育委員会、体育協会、陸上競技協会などが運営を担当し、ボランティアがそれを支えている。小生の絡む柏でも、柏・我孫子・沼南の2市1町の共催で「手賀沼エコマラソン」を開催している。大会運営は1年前から準備が始まる。2市1町の大会関係者は1,200名を越え、予算は地区年次大会予算に相当する。その意味で、市川東LCが単独で開催する「市川リバーサイド健康マラソン」の事業に敬意と拍手を送りたい。



@私事で恐縮ですが、息子が11月4日に行われた「ニューヨークシティマラソン」に参加し、完走してきました。42.195kmのフルマラソンです。第3波のテロが予測される中での大会でしたが、世界各地からの参加者を含め3万人がニューヨークの目抜き通りを埋め尽くし、自由と平和を守る断固たる意志を示したそうです。



★例年になく猛暑の夏に就任し、慌しく発行した第1号から4ヶ月。街にはジングルベルが流れ、先生も走る師走となりました。今号は準備期間がありましたが、やはり原稿集めには苦勞しました。実務担当者の丹羽編集長の話では、指定通りの様式と字数が完全なのは1割に満たず、原稿整理に膨大な時間と労力を要したそうです。編集委員も自分の会社の仕事の傍ら、編集作業を進める訳であり、「地区ニュース」の取材と原稿執筆に係わるPR情報委員や情報提供者の協力を改めてお願い申し上げる次第です。

次号は地区年次大会と国際大会の特集を組む予定ですが、24年前に東京で開催された、国際大会での情報(資料・写真等)をお持ちの方はご提供くださるとボリュームのある特集となると思います。期待しておりますので宜しくお願いいたします。

(PR・情報委員長/L山澤 啓伸)

★秋の味覚を堪能し、山茶花の色鮮やかさに魅せられ人との出会いを大切に思い地区ニュース活動に2歩前進！我が家の愛犬チャルくんもすっかり冬毛にもどりブルブル変身！共に散策し、目と耳と鼻で合図、表情豊かな顔を見るたび心が和みます。この度、ゾーンチェアマンを始め各クラブ皆様のご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

(地区ニュース編集委員/L坂巻 恵子)

★『子ども達の心の成長』我々大人達は、自分の経験上、勉強ができず、技能も下手なことは辛いと思い、そんな思いはさせたくないと考えてしまう。そこで、口や手を出し、少し覚えると安心する。それが“大人の思いやり”だと思い込んでしまう。しかし、それで成長するのだろうか？

見守っていて、分からなければヒントを与え、できないことの補助をする。失敗したら抱きしめて激励してあげ、できたときには本気でほめるのが、本当の思いやりだと言えるのではないだろうか。

他の子と比較して、上手か下手かと評価するのは、子ども達にとって一番辛いこと…。子ども自身が『やってみたい』『上手になりたい』という気持ちを持つこと、困難を乗り越えられる力をつけることが、生きる上での大切な“心の成長”だと思うのだが。

(地区ニュース編集長/L丹羽信敬)



[次号予告]

特集

準備進む第48回地区年次大会を探る

緑と風と陽光がふりそそぐ大学キャンパス会場と期待される変革

2002年第85回大阪国際大会の開催迫る!

かつてない大会参加登録とインターナショナル・パレードの魅力を紹介

好評連載③

ライオンズ・スピリッツ探究

LIONS・NEWS・FLASH!

あなたのクラブ、あなたの街のトップニュースを満載。

LEO海外研修の現地レポート

冬期YE生は日本の正月をどう過ごしたか

熱気溢れる千葉県高等学校弁論大会詳報

「地区ニュース」 №2

2001年12月10日発行

発行人 後藤 隆一

編集人 丹羽 信敬

発行 ライオンズクラブ国際協会333-C地区
千葉市中央区問屋町1-55 シーオービル

TEL 043-243-2528

印刷 中央印刷株式会社



<http://www.lionsclub333c.org/>
(333-C地区HPアドレス)